

緊急経済対策を行っています

中津川市では、「100年に一度の津波」と言われるこの経済情勢に即応し、暮らしの安心が脅かされている市民、資金繰りに苦しむ中小企業・小規模事業者に対し、生活不安を減少させるとともに安心して活躍でき、事業の継続と雇用の維持を図るために「なかつがわ全市緊急経済対策本部」を設置し、公共事業の追加・前倒し、地産地消運動の推進のほか、中小企業等への金融支援を行っています。

◎中小企業等への金融支援

「中津川市中小企業小口融資」を受けた最初の1年間（第1回から第12回分）にかかる利子を全額補給します。

（通常は補給はありません）

「中津川市中小企業小口融資」を受けた際にかかる、岐阜県信用保証協会への信用保証料を全額補給します。

（通常は1/2補給）

※上記については平成21年3月31日までに融資が行われたものについて補助します。

その他、生活福祉資金貸付制度、離職者支援資金貸付制度、勤労者資金融資制度、農業・畜産・林業関係の融資制度、一般事業者向けの制度もあります。

詳しくは、広報なかつがわ1月号の3ページをご覧ください。

百人一首大会で時代にふれてみました。

1月14日（水）苗木中学校にて、神明神社の宮司 可知重彦さんを詠み手にお迎えして『百人一首大会』が開催されました。会場となる教室で生徒たちが準備をしていると、詠み手となる可知さん、二村校長先生のほか、2名の先生が平安時代の衣装を身にまとい登場し生徒たちを驚かせました。

これは、平安時代末期から鎌倉時代に活躍した歌人 藤原定家が、百人の歌人の優れた和歌を選んだものが、百人一首の始まりといわれていることから、「生徒たちに、本物にふれてほしい」という校長先生の思いにより、今回、初めて、詠み手が平安時代の衣装をまとい行なうこととなりました。

はじめに、可知さんに、文官、武官など、今回、身にまとっている平安時代の衣装について説明していただいた後、かるた取りが始まりました。可知さんや校長先生、教頭先生が詠み手となり、語尾を延ばす独特の詠み方で百人一首の上の句が詠みあげられると、生徒たちは静かに、札に手を伸ばしました。はじめは、控えめだった生徒たちも残り枚数が少なくなっていくとヒートアップ、声をあげ、隣の人とぶつかりながら、札に飛びついていました。



親子でクリスマス料理に挑戦しました。

クリスマス直前の日曜日の12月21日、苗木小学校調理室で、栄養教室などでお馴染みの青山鈴美先生を講師に迎え『親子クリスマス料理教室』が行なわれ、園児から小学5年生までの親子16名が参加しました。はじめに先生から、手の洗い方や包丁の扱い方など、注意点をお話して頂いたあと、3つのグループに分かれて料理を始めました。青山先生のレシピを基に、お母さんから作り方を教えられた子どもたちは、丁寧に食材を切ったり、調味料を混ぜ合わせ、親子で楽しく料理をしました。クリスマス用のグリルチキンや、カボチャのなめらかプリンなどを2時間ほどで仕上げ親子でおいしく頂きました。

小学校の調理室を利用した今回の料理教室は、調理台の高さが子どもにぴったりということもあり、子どもたちはとてもやり易そうでした。



租税教室

1月19日(月)、中津川税務署の方を講師に迎え、苗木小学校6年生を対象に「租税教室」が行なわれました。

税金は生活のいろいろなところに使われており、道路や建物などの公共施設や、普段使用している学校の机や教科書など1年間で小学生一人あたりに約85万円・中学生は約94万円掛かる費用も税金でまかなわれていることを知りました。消費税や所得税などの税金の種類、納め方についても聞き、税金の大切さを学びました。



中津川市鉱物博物館 第23回私の展示室 苗木みかげと青川を走った電車

—北恵那鉄道廃線30周年記念—

北恵那鉄道は、大正13(1924)年8月5日、中津町と付知間22.1Kmを結ぶ電気鉄道として開通しました。木曾谷の電力王福沢桃介が、大井ダム建設による材木輸送の代換として建設され、ヒノキや農産物、みかげ石(花崗岩)が運ばれ、また一時は多くの乗客が利用しました。昭和53(1978)年9月18日、54年の幕を閉じました。鉄道廃線から30周年を迎え、北恵那鉄道保存会により、写真やレールなど様々な関連資料を展示紹介しています。

会 期：開催中～2月22日(日)

(休館日:1/26、2/2・9・16)

開 館：9時30分～17時まで



市・県民税と所得税などの税務相談

平成20年分の市・県民税と所得税などの申告・相談が、2月16日(月)から始まります。苗木地区の受付は、3月3日・4日の2日間、午前9時から午後4時までです。詳しくは、広報なかつがわ2月号をご覧ください。

『中国気孔で健康に』(しろやま大学)

年が明け、寒い日が続きますが、皆さん、いかがお過ごしですか。この季節は、家の中にこもってばかりで、体が硬くなっている方もいると思います。そんな皆さんに、澤田先生の『中国気孔教室』のご案内です。楽しい話を聞きながら体を動かすとポカポカ温まりますよ。寒い冬だからこそ元気に体を動かしてみませんか？下記のとおり開催されますので、参加を希望される方は、コミセンまでご連絡下さい。

日時 2月9日(月)

午後2時00分～3時30分ぐらい

会場 苗木コミュニティセンター

講師 澤田 明 先生

苗木遠山史料館 収蔵品展「衣装展」

ただいま、史料館が収蔵している華やかな女性の衣装「小袖(こそで)」「打掛(うちかけ)」や簀迫(はこせこ)類(小物入れ)や、男性の衣装「直垂(ひたたれ)」「袴(かみしも)」など約55点を紹介しています。当時の美的センスや技術をご覧ください。

会 期：開催中～2月22日(日)

(休館日:1/26、2/2・9・16)

開 館：9時30分～17時まで



3月1日～7日までは「春季全国火災予防運動」 ～ 火のしまつ 君がしなくて 誰がする ～

春は空気が乾燥し、最も火災が発生しやすい季節です。

昨年 市内で発生した火災・・・48件(前年より3件の増加)

<火災の内訳>

- ・「枯草火災」「山林火災」・・・17件(春先に最も多く発生しています)
- ・「建物火災」・・・27件。(中でも全焼火災が多く発生しています)
- ・「車両火災」・・・4件。

火災の損害額・・・約1億5,700万円(前年より約1億3,100万円の増加)

原因は、たき火・たばこの不始末・コンロ・風呂たき場・煙突・放火の疑い・整備不良・無理な操作・運転 などです。火災は、その大半が人間のちょっとしたミスから発生しています。火を使うときは周りの状況を確認してください。

家庭には、火災の早期発見、損害の減少、尊い命を守るため「住宅用火災警報器」を設置しましょう。そしてお年寄りや子供など災害弱者を火災から守りましょう。





2 月 行 事

1	日	親子スキー教室	
2	月		可燃
3	火		
4	水	乳幼児なんでも相談 10時～	
5	木		可燃
6	金		
7	土		
8	日		
9	月	しろやま大学 14時～	可燃
10	火		
11	水	建国記念の日	
12	木		可燃
13	金		
14	土		
15	日		
16	月		可燃
17	火		
18	水		大型
19	木		可燃
20	金	区長会	資源
21	土		
22	日		
23	月		可燃
24	火	夜間体育館施設抽選会	
25	水		不燃
26	木	定例市議会（初日）	可燃
27	金	定例市議会（2日目）	
28	土		

※行事は変更になる場合がありますのでご注意下さい。

《苗木の人口》 平成20年12月31日現在
人 口 6,427名 世帯数 2,148世帯
(男 3,144名 / 女 3,283名)

★公民館遠足の日程のご案内★

毎年恒例の公民館遠足を、今年は、
3月17日(火)に行います。行き先等はまだ決定していませんが、公民館講座を受講されているみなさんには、今月講座に来ていただいた時に詳細をご案内させていただきます。
今年もみなさんで小旅行を楽しみましょう！



風邪・インフルエンザの予防のため、
手洗い・うがい・マスク着用を習慣づけましょう！

＝ 苗木中学校 ＝

1月14日に百人一首大会が開かれました。苗木中では、生徒たちにできるだけ本物を体験させていこうという方針を立てています。

ただ百人一首をするだけでなく、教員が当時の服装（束帯）を着て、平安時代の絵巻から飛び出したように演出し、百人一首大会を実施しました。神明神社宮司の可知重彦様の協力を得て、最初に、「文官」「武官」などの当時の服装の説明を聞き、平安貴族になったつもりで詠みあげました。生徒たちは平安文化に触れ、可知さんの抑揚ある詠み方に、真剣に取り組みました。



＝ 苗木小学校 ＝

苗木小では、年末に冬休みの課題の入口として、12月1日から12日まで「一人一役」運動を行い、家庭での手伝いを奨励しました。3年生の学級通信では、もちつき・門松の準備・おせち料理作りの手伝いや、年とりをした等、が書かれています。苗木には昔から伝わる行事が大切に守られているようで、子どもたちに引き継がれていることをありがたく思います。また、左義長のために豆学校で門松集めをしている地域が多く、保護者・地域の方のおかげで伝統が継承されることにも感謝しています。4年生のお正月の俳句を紹介します。

「初日の出 竹やぶじゃまで 見えないよ」「さむい日の こたつの中は 足でこんざつ」「お正月 おそうに たべて まんぞくだ」



＝ 苗木保育園 ＝

1月15日苗木保育園で左義長を行いました。年末に秋葉会の方に作っていただいた門松やしめ縄等を園庭の真ん中に立てました。燃え上がる炎を見て「ワアー！」と子ども達の歓声が起こりました。地域で経験をした子達は、「うちでやった時はもっと大きい火やった、黒い煙も出たよ」と話していました。おき（炭）が出来たので七輪に移し、前日ついた黒豆餅とよもぎ餅やみかんを年長児が焼いてくれました。無病息災を願ってみんなで美味しくいただきました。



＝ のぞみ保育園 ＝

のぞみ保育園では年明けの1月14日、おじいさんおばあさんとお餅つきをしました。一人では重い杵もおじいさんと一緒ならだいじょうぶ！ぺったんぺったん「よいっしょ！よいっしょ！」と元気な掛け声で餅米もいつの間にかお餅に大変身！つきたてのお餅はおばあさんにちぎってもらい、自分たちであんこときなこを付けてお昼ご飯にみんなで食べました。おいしくてたくさんおかわりが出来たね。おじいさんおばあさんありがとう！

